

＜対策のポイント＞

農業者の生産性を飛躍的に向上させるためには、**先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装**の推進が急務です。このため、**最先端の技術を生産現場に導入・実証**することでスマート農業技術の更なる高みを目指すとともに、社会実装の推進に資する情報提供等を行う取組を支援します。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

＜事業の内容＞

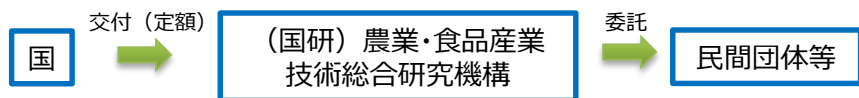
**1. 最先端技術の導入・実証**

- （国研）農業・食品産業技術総合研究機構、農業者、民間企業、地方公共団体等が参画して、スマート農業技術の更なる高みを目指すため、**ロボット・AI・IoT・5G等の最先端技術を生産現場に導入し、理想的なスマート農業の実証**を実施します。この中で、**棚田地域の振興**に資する取組についても推進します。

**2. 社会実装の推進のための情報提供**

- 得られた**データや活動記録等**は、（国研）農業・食品産業技術総合研究機構が**技術面・経営面から事例として整理して、農業者が技術を導入する際の経営判断に資する情報として提供**するとともに、農業者からの相談・技術研鑽に資する取組を実施します。

＜事業の流れ＞



※ ＜事業の流れ＞の民間団体等は、公設試・大学を含みます。

＜事業イメージ＞

生産から出荷までの先端技術の例

耕起・整地	移植・播種	栽培管理
 <p>自動走行トラクタの無人協調作業</p>	 <p>ドローン播種</p>	 <p>リモコン式自動草刈機</p>
 <p>ICT農業用建機</p>	 <p>乗用型全自動移植機</p>	 <p>インシシICT捕獲檻</p>
 <p>ドローンを活用したリモートセンシングと施肥</p>	 <p>アスパラガス収穫ロボット</p>	 <p>経営管理システム</p>
	 <p>イチゴ収穫ロボット</p>	 <p>収穫野菜自動運搬車</p>

「スマート農業」の社会実装を加速化